

第 669 回 新潟放送番組審議会 議事録

— 議題 —

「フリートーク」

(今年 1 月～ 6 月に放送したラジオ・テレビ番組及び
放送全般について意見交換)



令和 3 年 7 月 29 日

BSN新潟放送

第 669 回新潟放送番組審議会

1. 開催日時 令和 3 年 7 月 29 日 (木) 午前 11:00~

2. 開催場所 新潟市中央区 新潟放送 5F 511 会議室

3. 委員の出席

○委員側出席者 (敬称略・順不同)

委員長 古賀 豊	委員 広川 和義
委員 石坂 智恵美	委員 三井田 由香

○審議番組事前レポート提出

副委員長 佐藤 元	委員 渡邊 信子
委員 馬場 幸夫	委員 大橋 未来子

○放送事業者側出席者

社長 佐藤 隆夫	専務取締役 島田 好久
メディア本部長 五十嵐 幹史	情報センター長 小湊 潤

事務局 金山 英功 (編成局テレビ編成部部長)

4. 議題

1 報告事項 令和 3 年 8・9 月の番組について (各局長)

2 審議事項 「フリートーク」

(今年 1 月～6 月に放送したラジオ・テレビ番組及び放送全般について意見交換)

5. 議事の概要

佐藤社長のあいさつの後、各担当からの 8・9 月度番組報告に続いて、今年 1 月から 6 月に放送したラジオ・テレビ番組 (自社制作番組・TBS 等ネット番組) 及び放送全般について意見交換がなされた。

～番組審議委員の主な意見～

- 「ゆうなび」に関しきちんと作られているが、報道の姿勢が変わってきている。「どいん新潟プラス」で出演者が主導権を握り B S N の取材が本気を出していない。そのイメージが「ゆうなび」全体のイメージになっている。
- 「ゆうなび」の特集等取材が大変な中、キャスター自ら街に出て取材対象と向き合っている姿に好感が持てる
- 「水曜見ナイト」「なじラテ」はそれぞれ司会者やレポーターにオリジナリティが出てきて地元情報バラエティとして認知されたのでは? 食レポ時、おいしそうに見えるカメラワークとレポートの第一声をさらに勉強してほしい。
- 自社制作番組についてその時々の情報、魅力を発信しているが、食べ物の話題などテーマが偏っている印象は否めない。
- 未解決事件を取り上げた特番で、重い空気の中、突然明るく元気な CM が流れると、なかなか気持ちが切り替えられない。 CM に罪はないが、せめて順番に配慮するなどしてほしい。
- 報道・情報・ドラマ・バラエティー共にバランスよく、他局と比べても善戦していると思う。中でもドラマ枠の日曜劇場は求められることも多いと思うが、家族で観て話題に上る内容で、今後も視聴者の期待に応えるドラマを制作してほしい。
- 「坂上＆指原のつぶれない店」は、視聴者に元気を与えてくれるいい番組だと思う。その道の匠がアドバイスし、売れない店が売れる店へと変わるシリーズでは、人生にはチャンスがあるんだということを教えてくれる。
- 「新・情報 7 days ニュースキャスター」「サンデーモーニング」の 2 番組はそれぞれ切り口が異なるので、同じ話題を違った角度で観ることができて面白い。2 番組に共通するのは、どちらも今知るべきことをわかりやすく伝えているところ。視聴者に深く問い合わせ、問題提起をしている姿勢を感じる。
- 今や番組を見逃しても、ネットで簡単に見ることができる時代。自分の時間に合わせて視聴できることはありがたい。テレビはインターネットとの共働をバランスよく構築していく必要があると思われる。
- テレビの置かれている環境が大きく変わる節目に来ている中、ネットとは敵対せず、双方で情報を交換し、膨らませていく方法が取り入れられてきたように感じる。テレビには複合的にメディアを使い、新しいムーブメントを作り出す努力を続けてほしい。

【文責・番組審議会事務局】